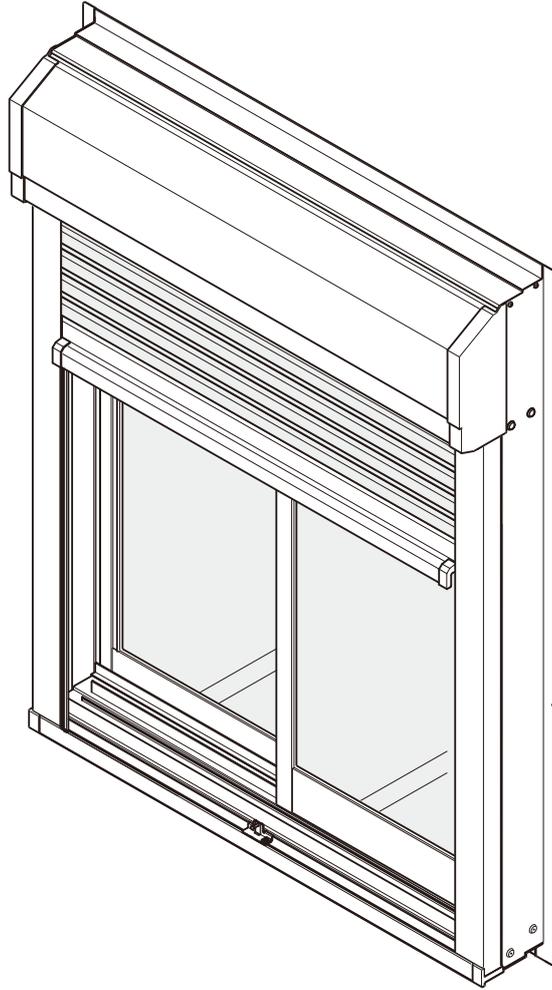


LIXIL

窓シャッター

エアリス・イタリヤ(マルチ電動・スイッチ仕様)



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2~5
注意	2
お願い	3・4
ご使用にあたっての留意事項	5・6
■ 各部のなまえとはたらき	8
■ ご使用前の確認事項	9
プレッシャーリターンセンサーとは	9
■ 「エアリス」壁スイッチ（アダプタ）のなまえとはたらき	10・11
1.壁スイッチ	10
2.タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ	11
■ 「イタリア」壁スイッチ（アダプタ）のなまえとはたらき	12・13
1.壁スイッチ	12
2.タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ	13
■ セントラルコントローラーのなまえとはたらき	14
■ 操作のしかた	15~25
1.「エアリス」壁スイッチの操作のしかた	15
2.「エアリス」採風操作のしかた	16・17
3.「イタリア」壁スイッチの操作のしかた	18
4.「イタリア」半開操作のしかた	19・20
5.タイマー・現在時刻の設定のしかた	21~23
6.セントラルコントローラーの操作のしかた	24
7.リモコンの操作のしかた	25
■ 異常表示の原因と解除のしかた	26・27
1.赤の点滅	26
2.緑の点滅	27
■ 連窓方立の取外し方・取付け方	28
■ 幅木ロック機構の使い方	29
1.幅木ロックとは	29
2.幅木ロックの操作のしかた	29
■ 停電時開閉機構の使い方	30~32
1.停電時開閉機構とは	30
2.開閉のしかた	30
3.電動復帰のしかた	31・32
■ 点検とお手入れ	33・34
点検	33
プレッシャーリターンセンサーの作動点検	33
お手入れ	34
■ シャッターが動かない場合	35
■ 商品保証について	36

重要なお知らせ

ご使用前に

●安全のために、必ずお守りください。

「エアリス・イタリヤ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

なお、この取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「エアリス・イタリヤ」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では、「エアリス・イタリヤ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲(不感知帯〔下枠より100mm程度〕)が出る場合があります。この範囲に人・物がいないことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたら壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。
- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- 改造しないでください。特にモーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- 連窓方立の取付け後に、落とし錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。



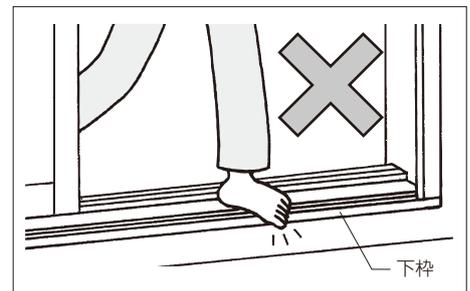
お願い

- 外開きサッシに取付けてある場合は、障子が閉まっていることを必ず確認してください。
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間作動が停止することがあります。(故障ではありません)10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
- シャッターは少なくとも1ヵ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。
- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。
- エアリスの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がする場合がありますのでご注意ください。
- シャッターボックスに、はしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。
- シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。また、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
- シャッターが凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
- 壁スイッチ(アダプタ)の前に障害物を置かないでください。リモコン受光部が隠れてリモコン操作ができなくなるおそれがあります。
- お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。
- 故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 極度の電圧変動が起きた場合、シャッターが正常に動かない場合があります。

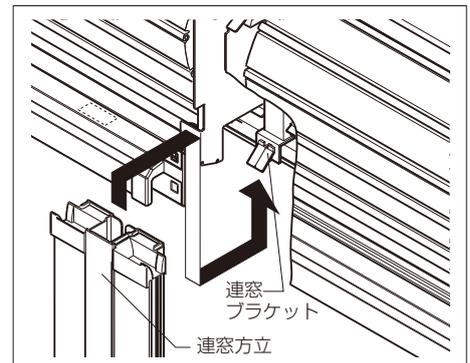
お願い

- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。
- お手入れには柔らかい布、スポンジを使用し、金属製ブラシ、金ベラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。「エアリス」の場合は、シャッターを採風状態(シャッターが通気できる状態)にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。

- 下枠先端部に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落下し人身事故や物損事故につながります。



- 壁スイッチ(アダプタ)、リモコンは濡れた手で操作しないでください。また、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。
- リモコンを長期間使わないときは、液漏れ防止のため、電池を抜いてください。
- 電池消耗表示が出たら、すみやかに新品の乾電池と交換してください。(同梱されている乾電池は、短期間で消耗することがあります)
- 電池交換時に新旧・異種の電池は混用をさけて、電池の+-は正しく入れてください。
- 電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
- 機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。

ご使用にあたっての留意事項

- ※シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨が当たった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- ※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻き上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面に付いた水が内側に付くためです。
- ※開閉途中で引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題ありませんので安心してお使いください。
- ※シャッターを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。
- ※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
- ※開閉動作10サイクルに1回または採風操作後に全開にすると幅木が本体内に引き込まれ反転します。これは上下限位置設定の設定値の更新を行うためです。品質に問題ありませんので安心してお使いください。
- ※通電中に手動開閉操作を行わないでください。設定位置がずれて途中で停止したり、反転したりすることがあります。通電中に手動開閉操作を行った場合は、P.31を参照して復帰してください。
- ※風が強い場合は、サッシを閉めてから開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。
- ※プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくる可能性がありますので、開スイッチを押し、シャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。

……ご使用にあたっての留意事項 ……

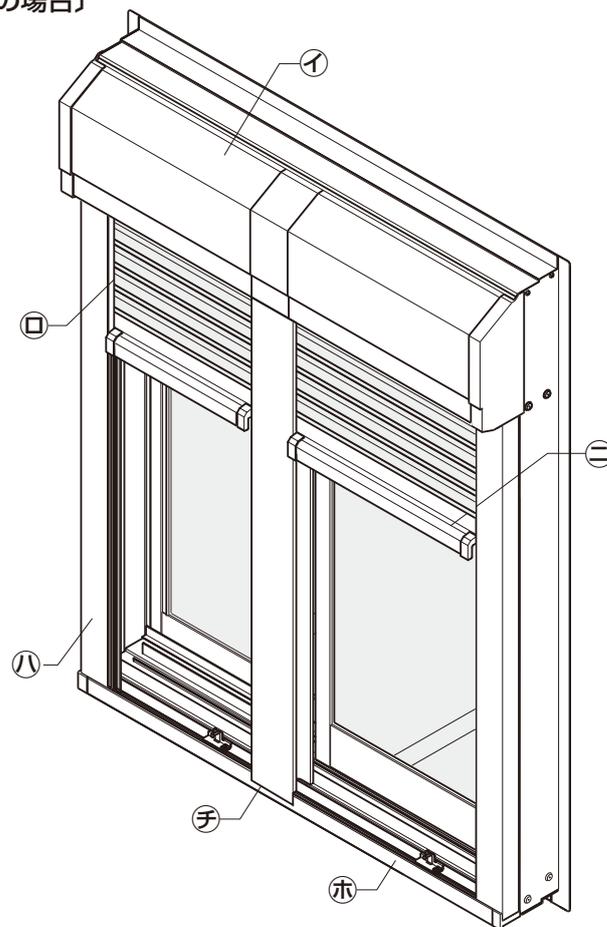
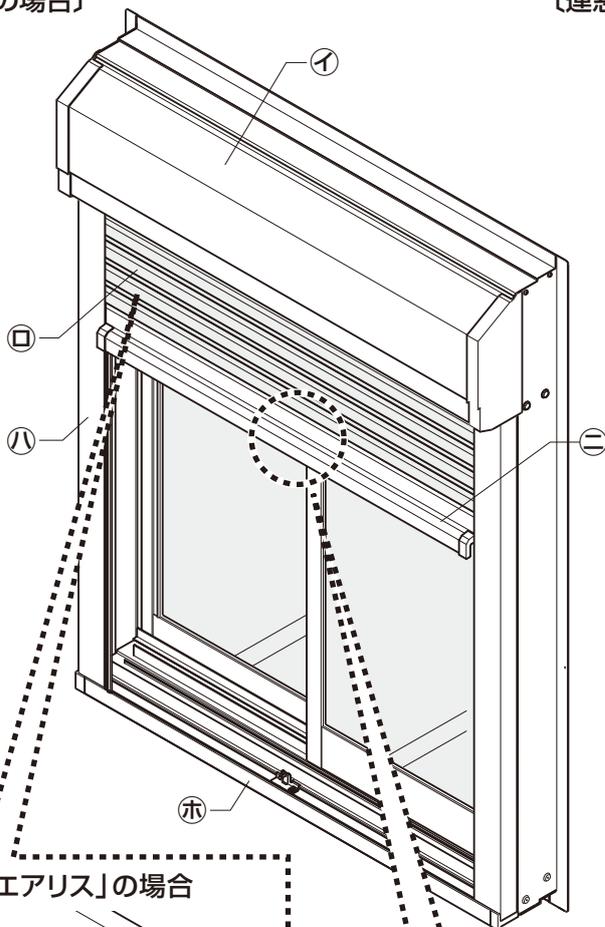
- ※シャッターを開ける際に、シャッターボックス内部より音がしますが異常ではありません。これはシャッターを巻き上げるとスラットが重なり巻かれる構造のためです。
- ※フラップスラットを閉める前に異物等が挟まれていないことを確認してください。異物等が挟まっている場合はシャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間をきれいにしてください。
- ※集中制御システムの場合、微弱な信号を電力線（屋内電気配線）に乗せて通信を行いますので、電力線の状態や他の電気製品の電気ノイズの影響により、通信できない場合があります。また、近辺に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信できない場合があります。その際は、ノイズを除去していただく対応が必要になります。

各部のなまえとはたらき

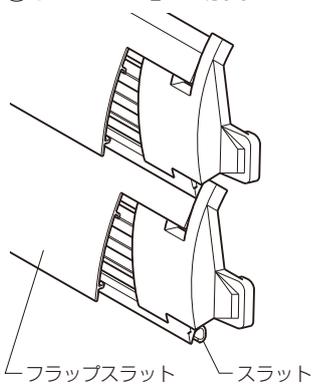
※ここでは、本体の各部のなまえとはたらきを説明しています。

〔単窓の場合〕

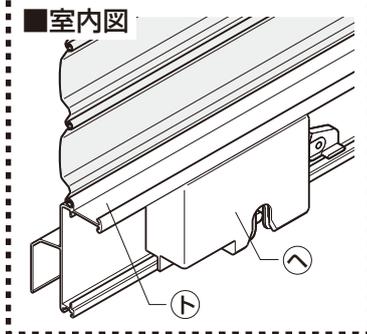
〔連窓の場合〕



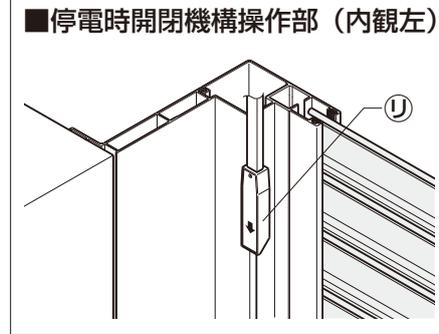
㊰「エアリス」の場合



■室内図



■停電時開閉機構操作部（内観左）



●各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
①	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㊦	スラット(フラップスラット)	カーテン部分です。(フラップスラットは採風用です。) ※「エアリス」の場合
㊨	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㊩	幅木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
㊰	下柵	底の部分で、雨水などを流します。
㊱	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
㊲	手掛け	手動開閉のとき使用します。
㊱	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。
㊳	操作ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。

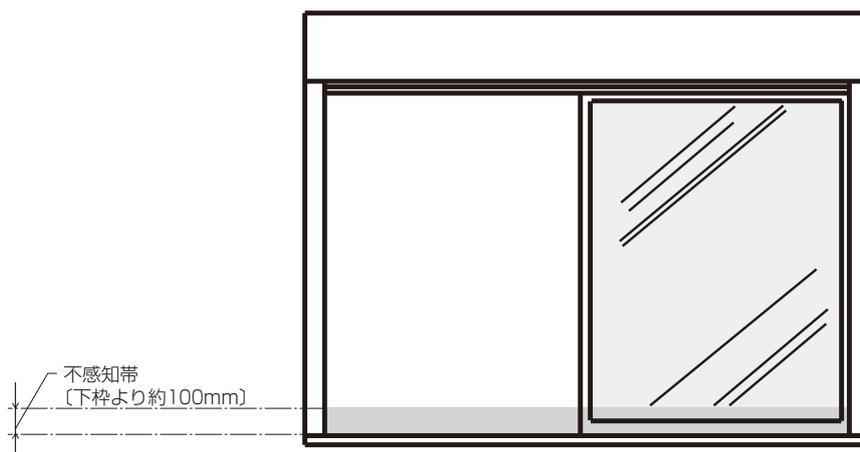
ご使用前の確認事項

プレッシャーリターンセンサーとは

- シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

お願い

- プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくる場合がありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔下枠より100mm程度〕）が出る場合があります。この範囲に物が無いことを確認してから作動させてください。



⚠ 注意

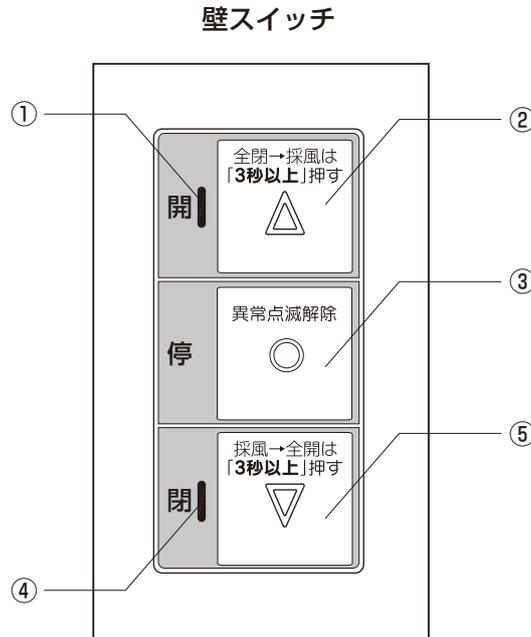
- 開閉の際には周囲に人・物が無いことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

「エアリス」壁スイッチ(アダプタ)のなまえとはたらき

1

壁スイッチ

※操作のしかたは、P.15「操作のしかた」を参照ください。



●壁スイッチのなまえとはたらき

番 号	なまえ	はたらき
①	開ランプ (赤)	シャッターが全開または途中停止の場合、点灯します。 (少しでも開いていると消灯しません。) 以下の2つの状況を感じると、点滅します。 ・プレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・シャッターの動作中に幅木にぶらさがった場合。
②	開スイッチ	・シャッターが上昇します。 ・全閉時に3秒以上の押し続けでシャッターが採風動作をします。 ・採風操作時にはフラップスラットを開きます。
③	停止スイッチ	・シャッターが途中停止します。 ・開ランプ (赤) の点滅を解除します。
④	閉ランプ (緑)	・シャッターが全閉の場合、点灯します。(全閉中は消灯しません。) ・停電復帰後、点滅します。
⑤	閉スイッチ	・シャッターが下降します。 ・3秒以上の押し続けでシャッターが全開までの動作をします。 ・採風操作時にはフラップスラットを閉じます。

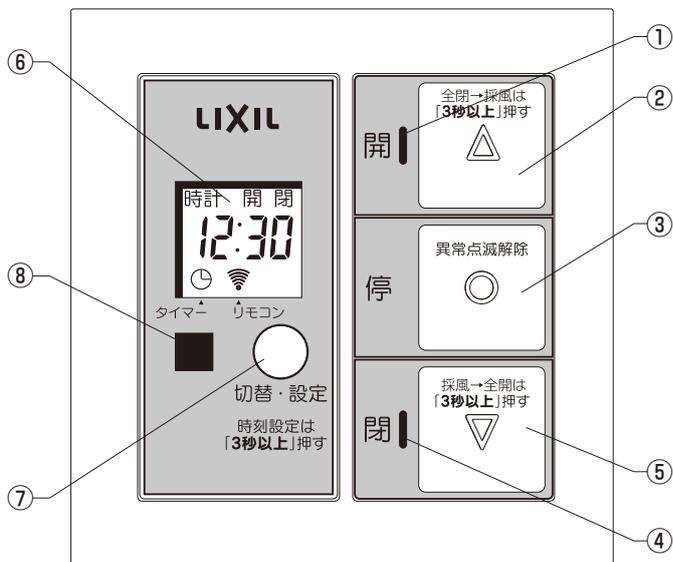
※開・閉スイッチを同時に操作した場合は、停止スイッチと同じはたらきをします。

2

タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ

※操作のしかたは、P.15「操作のしかた」を参照ください。

タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）



液晶表示部



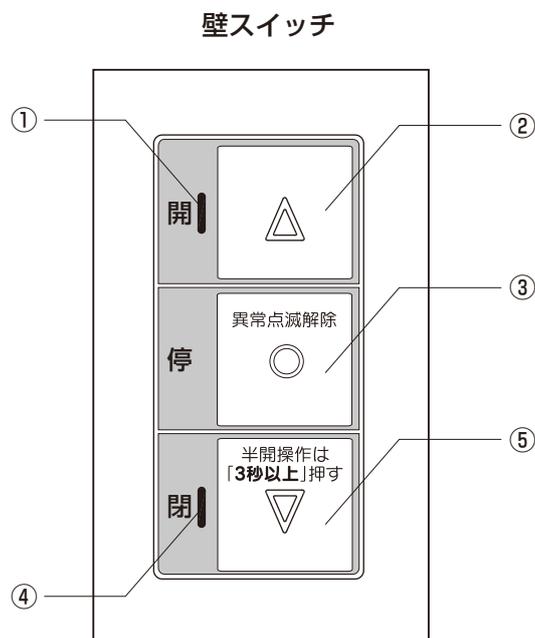
●タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）のなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ（赤）	シャッターが全開または途中停止で点灯します。 （少しでも開いていると消灯しません。） 以下の2つの状況を感じると、点滅します。 ・プレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・シャッターの動作中に幅木にぶらさがった場合。
②	開スイッチ	・シャッターが上昇します。 ・全閉時に3秒以上の押し続けでシャッターが採風動作をします。 ・採風操作時にはフラップスラットを開きます。 ・設定時刻の送り操作をします。
③	停止スイッチ	・シャッターが途中停止します。 ・開ランプ（赤）の点滅とブザー音を解除します。 ・設定時刻の確認と、設定内容（タイマー開閉予約時刻、現在時刻）を順送りします。
④	閉ランプ（緑）	・シャッターが全閉の場合、点灯します。（全閉中は消灯しません。） ・停電復帰後、点滅します。
⑤	閉スイッチ	・シャッターが下降します。 ・3秒以上の押し続けでシャッターが全開までの動作をします。 ・採風操作時にはフラップスラットを閉じます。 ・設定時刻の戻る操作をします。
⑥	液晶表示部	上記参照
⑦	切替スイッチ （タイマー・リモコン切替、 タイマー設定）	・タイマー予約・リモコン操作の切替えをします。 ・3秒以上の押し続けでタイマー開閉予約時刻、現在時刻の設定状態になります。
⑧	リモコン受光部	リモコンによる操作を感知します。

「イタリア」壁スイッチ(アダプタ)のなまえとはたらき

壁スイッチ

※操作のしかたは、P.18「操作のしかた」を参照ください。



●壁スイッチのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ (赤)	シャッターが全開または途中停止の場合、点灯します。 (少しでも開いていると消灯しません。) 以下の2つの状況を感じると、点滅します。 ・プレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・シャッターの動作中に幅木にぶらさがった場合。
②	開スイッチ	・シャッターが上昇します。 ・半開操作の設定をします。
③	停止スイッチ	・シャッターが途中停止します。 ・開ランプ (赤) の点滅を解除します。 ・3秒以上の押し続けで半開操作の設定状態になります。
④	閉ランプ (緑)	・シャッターが全閉の場合、点灯します。(全閉中は消灯しません。) ・停電復帰後、点滅します。
⑤	閉スイッチ	・シャッターが下降します。 ・3秒以上の押し続けでシャッターが半開動作をします。

※開・閉スイッチを同時に操作した場合は、停止スイッチと同じはたらきをします。

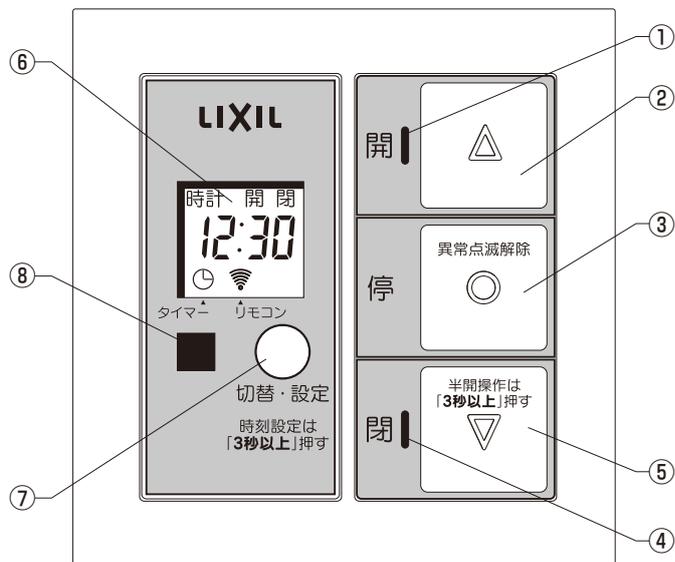
※半開操作は設定が必要です。P.20「半開操作の設定方法」を参照してください。

2

タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ

※操作のしかたは、P.18「操作のしかた」を参照ください。

タイマー付き壁スイッチ (アダプタ)



液晶表示部



●タイマー付き壁スイッチ (アダプタ) のなまえとはたらき

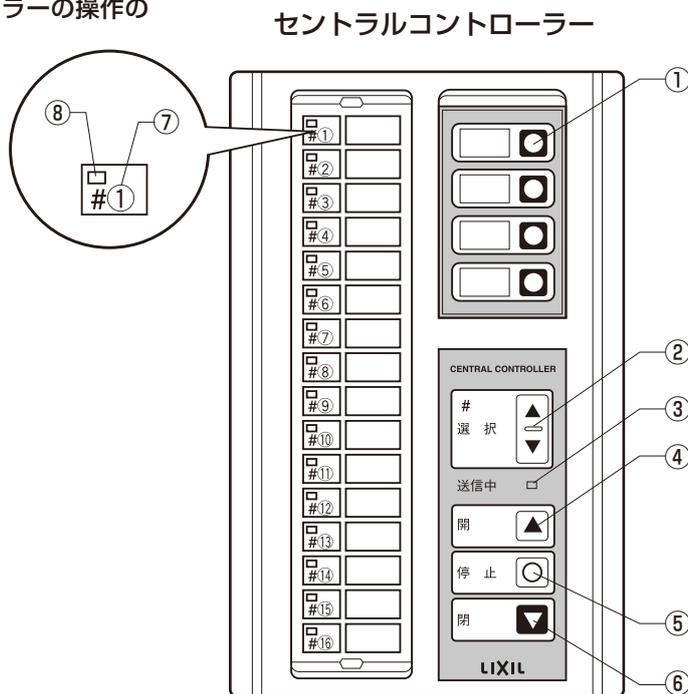
番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ (赤)	シャッターが全開または途中停止で点灯します。 (少しでも開いていると消灯しません。) 以下の2つの状況を感じると、点滅します。 ・プレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・シャッターの動作中に幅木にぶらさがった場合。
②	開スイッチ	・シャッターが上昇します。 ・設定時刻の送り操作をします。 ・半開操作の設定をします。
③	停止スイッチ	・シャッターが途中停止します。 ・開ランプ (赤) の点滅とブザー音を解除します。 ・3秒以上の押し続けで半開操作の設定状態になります。 ・設定時刻の確認と、設定内容(タイマー開閉予約時刻、現在時刻)を順送りします。
④	閉ランプ (緑)	・シャッターが全閉の場合、点灯します。(全閉中は消灯しません。) ・停電復帰後、点滅します。
⑤	閉スイッチ	・シャッターが下降します。 ・3秒以上の押し続けでシャッターが半開動作をします。 ・設定時刻の戻る操作をします。
⑥	液晶表示部	上記参照
⑦	切替スイッチ (タイマー・リモコン切替、 タイマー設定)	・タイマー予約・リモコン操作の切替をします。 ・3秒以上の押し続けでタイマー開閉予約時刻、現在時刻の設定状態になります。
⑧	リモコン受光部	リモコンによる操作を感知します。

セントラルコントローラーのなまえとはたらき

セントラルコントローラー

- セントラルコントローラーは、集中制御（複数のシャッターを制御）用のものです。（集中制御には、このほかタイマー付アダプタも必要です。）

※操作のしかたは、P.24「セントラルコントローラーの操作のしかた」を参照してください。



●セントラルコントローラーのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	グループ操作スイッチ	グループ設定に合わせて、複数のシャッターを同時に開閉します。
②	窓No.選択スイッチ	開閉したいシャッターの窓No.を選択します。
③	送信ランプ（赤）	信号送信中に点滅します。
④	開スイッチ	選択された窓No.のシャッターが上昇します。
⑤	停止スイッチ	選択された窓No.のシャッターが途中停止します。異常を知らせるブザー音を解除します。
⑥	閉スイッチ	選択された窓No.のシャッターが下降します。
⑦	窓No.ランプ（緑）	選択された窓No.のランプが点灯します。
⑧	開閉表示ランプ（赤） （異常表示ランプと兼用）	点灯：各シャッターが全開または途中停止の場合に点灯します。全閉するとランプは消えます。 点滅：異常を感知すると点滅します。

※「エアリス」は、セントラルコントローラーでの採風操作はできません。

操作のしかた

※ここでは、「エアリス」の操作のしかたについて説明しています。

1

「エアリス」壁スイッチの操作のしかた

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

壁スイッチ(アダプタ)の操作のしかた

■シャッターの開閉操作のしかた

【開ける場合】

- 開スイッチ②を押してください。
 - ・シャッターが上昇し、開ランプ（赤）①が点灯します。
 - ・シャッターを全開または途中で止めたとき、開ランプ（赤）①が点灯します。

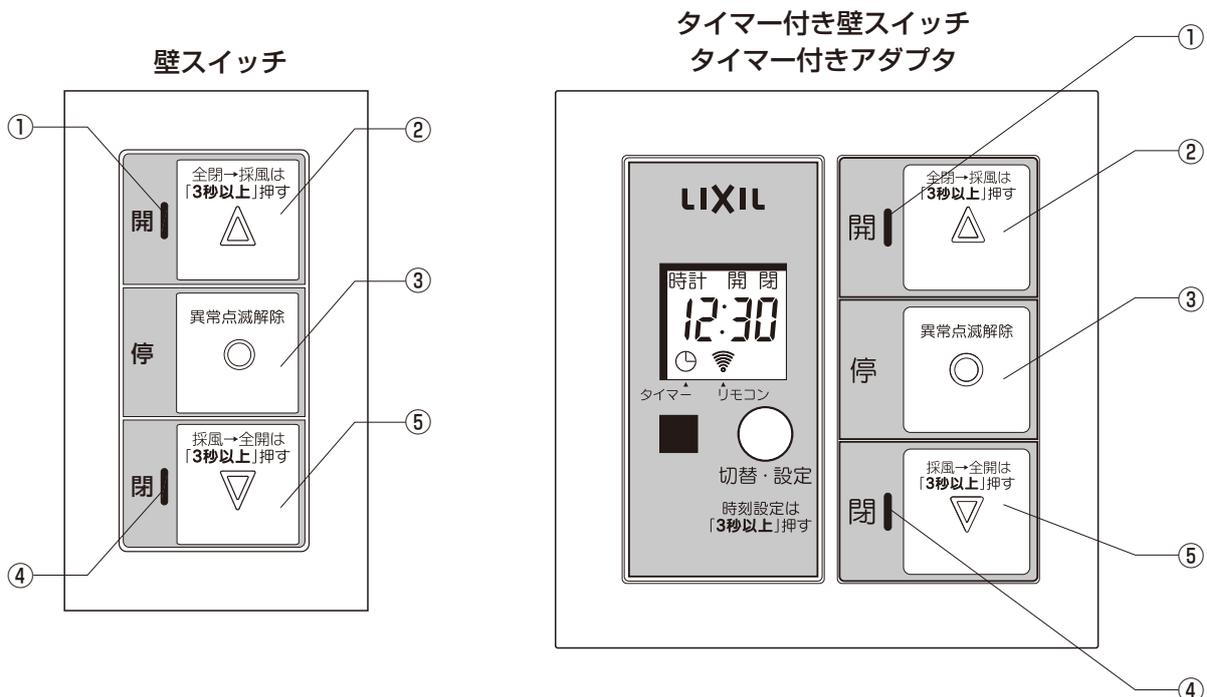
【閉める場合】

- 閉スイッチ⑤を押してください。
 - ・シャッターが下降します。
 - ・シャッターが全閉のとき、閉ランプ（緑）④が点灯します。

【途中で止める場合】

- 停止スイッチ③を押してください。
 - ・シャッターが途中停止し、開ランプ（赤）①が点灯します。

番号	なまえ
①	開ランプ（赤）
②	開スイッチ
③	停止スイッチ
④	閉ランプ（緑）
⑤	閉スイッチ



※ここでは、「エアリス」の操作のしかたについて説明しています。

2

「エアリス」採風操作のしかた

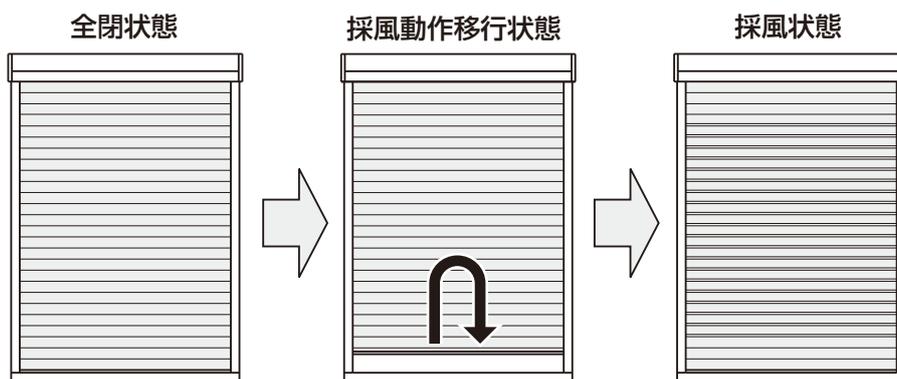
■採風操作のしかた

●採風操作は、シャッターの全閉状態（閉ランプ（緑）④が点灯）から行います。

【全閉状態→採風状態の操作をする場合】

●開スイッチ②を3秒以上押してください。

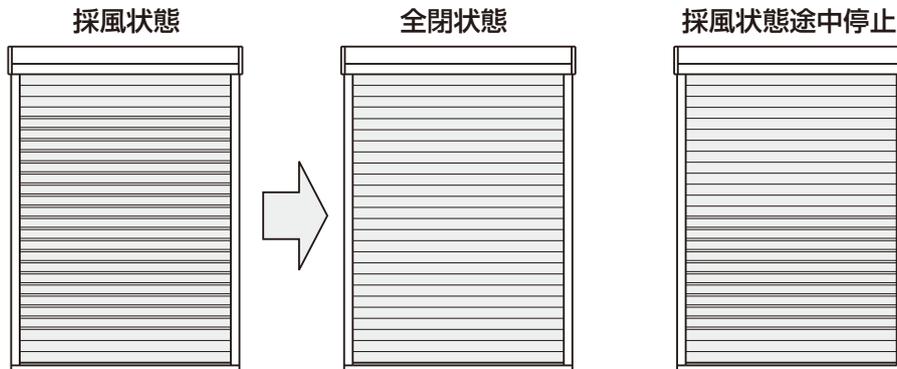
- ・シャッターが全閉から採風状態になり、開ランプ（赤）①が点灯します。
- ・シャッターが全閉状態から、始めに開動作を行い、次に採風動作に移行します。



【採風操作をする場合】

●閉スイッチ⑤を押してください。

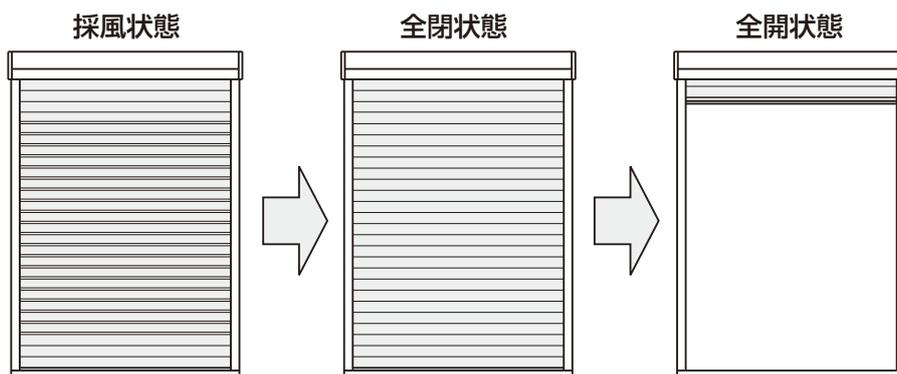
- ・採風状態からフラップスラットが閉まり、その後全閉状態になり、閉ランプ（緑）④が点灯します。
- ・停止スイッチ③を押して途中で停止した場合は、開ランプ（赤）①が点灯します。



【採風状態→全開状態の操作をする場合】

●閉スイッチ⑤を3秒以上押してください。

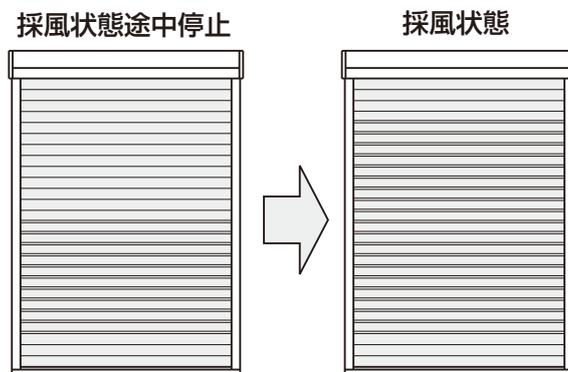
- ・シャッターが全閉し、その後全開状態になり、開ランプ（赤）①が点灯します。



■採風状態を途中で停止してからのフラップスラットの開閉操作

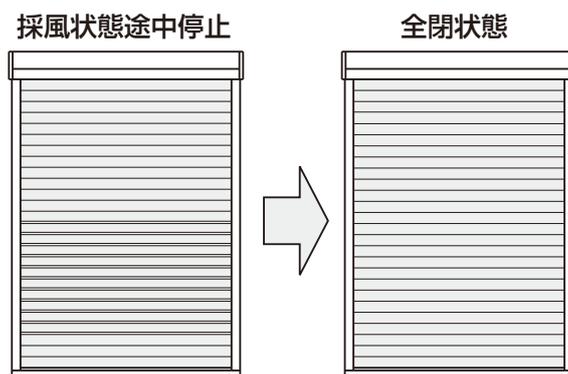
【フラップスラットを開ける場合】

- 開スイッチ②を押してください。
 - ・シャッターが採風状態になり、開ランプ（赤）①が点灯します。



【フラップスラットを閉める場合】

- 閉スイッチ⑤を押してください。
 - ・シャッターが全閉状態になり、閉ランプ（緑）④が点灯します。



【フラップスラットを途中で停止する場合】

- 停止スイッチ③を押してください。
 - ・フラップスラットが途中で停止し、開ランプ（赤）①が点灯します。

■全閉状態からの採風操作

- P.16 【全閉状態→採風状態の操作をする場合】の操作を行なってください。

■半開操作

- 半開操作とは、任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。
- 操作方法、設定方法はP.19、P.20の操作を行ってください。
- 出荷時の設定位置は全開状態となっています。

※ここでは、「イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

3

「イタリア」壁スイッチの操作のしかた

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

■壁スイッチ（アダプタ）の操作のしかた

【開ける場合】

- 開スイッチ②を押してください。
 - ・シャッターが上昇し、開ランプ（赤）①が点灯します。
 - ・シャッターを全開または途中で止めたとき、開ランプ（赤）①が点灯します。

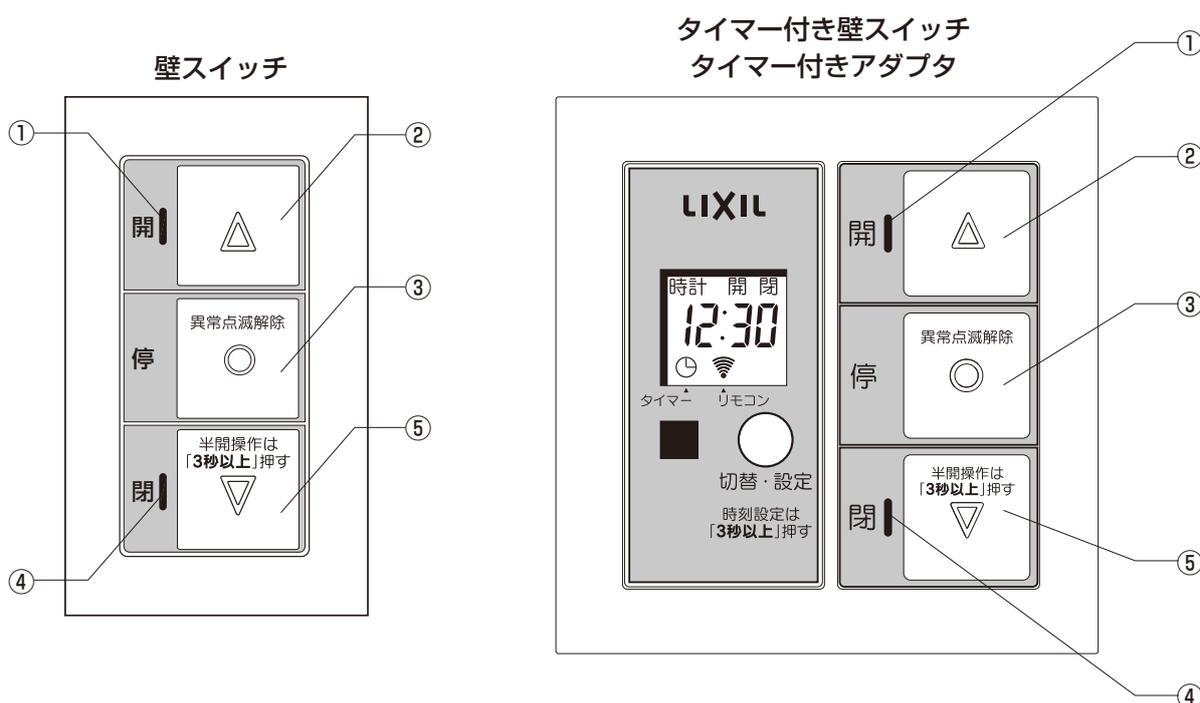
【閉める場合】

- 閉スイッチ⑤を押してください。
 - ・シャッターが下降します。
 - ・シャッターが全閉のとき、閉ランプ（緑）④が点灯します。

【途中で止める場合】

- 停止スイッチ③を押してください。
 - ・シャッターが途中停止し、開ランプ（赤）①が点灯します。

番号	なまえ
①	開ランプ（赤）
②	開スイッチ
③	停止スイッチ
④	閉ランプ（緑）
⑤	閉スイッチ



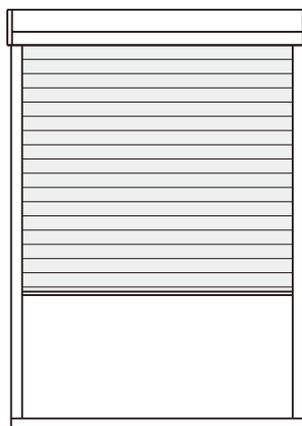
※ここでは、「イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

4

「イタリア」半開操作のしかた

■半開操作の操作方法

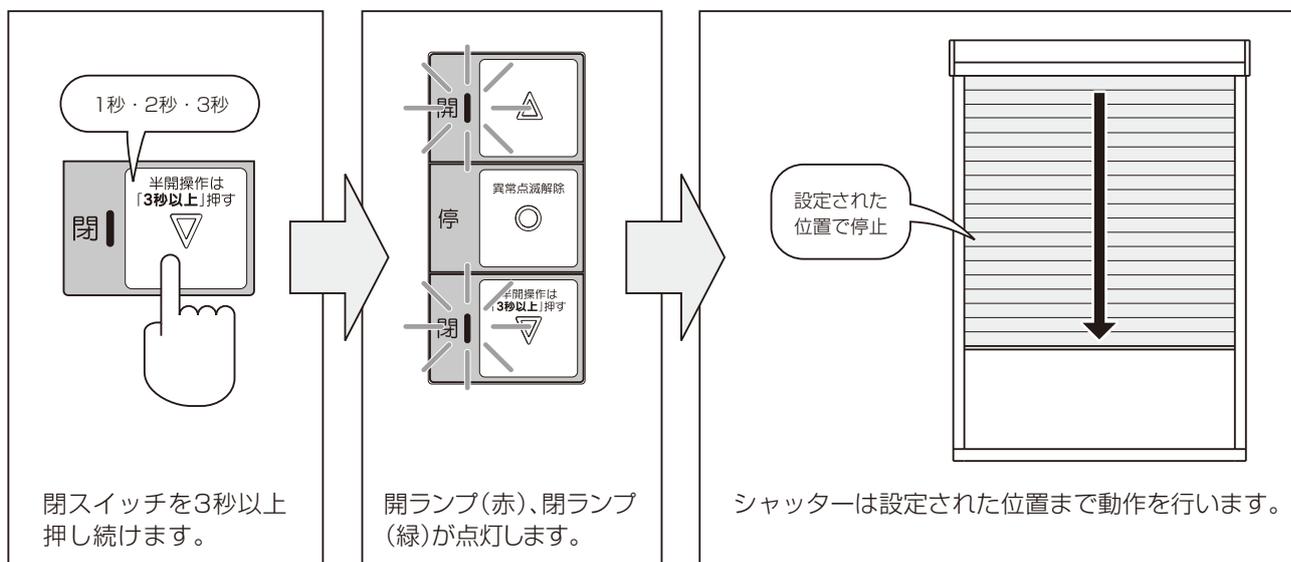
●半開操作とは、任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。



任意の停止位置
イタリア

●操作方法

●半開操作の設定が必要です。設定方法はP.20「半開操作の設定方法」を参照してください。



●シャッターが全閉のときは、3秒後に開動作を開始します。

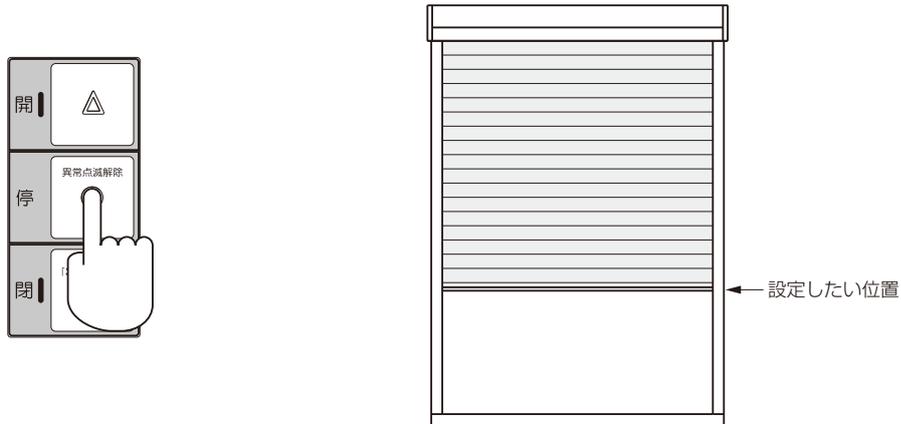
●全閉以外の状態のときは、始め通常閉動作を行い、3秒後に開もしくは閉動作に移行します。

●出荷時の設定位置は全開状態となっています。

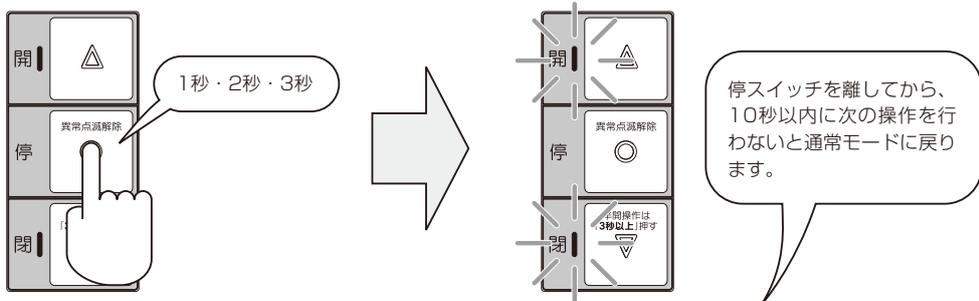
※ここでは「エアリス・イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

●半開操作の設定方法

■設定

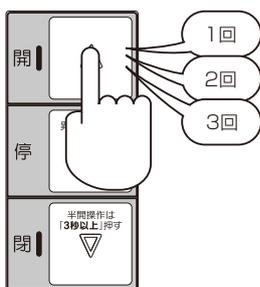


・シャッターを設定したい位置に合わせて停止させます。



・ 停スイッチを3秒以上押し続けます。

・ 開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が遅い点滅をします。



・ 開スイッチを3回続けて押します。

■設定完了



設定動作中に異常入力、スイッチ操作を行ったときは設定動作を中止し通常モードに戻ります。

- ・ 開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が早い点滅をします。
- ・ 約1.5秒後、点滅は停止し開ランプが点灯します。（閉ランプ消灯）

※設定時の位置と実際の停止位置では誤差が生じますが故障ではありません。

※ここでは、「エアリス・イタリヤ」の操作のしかたについて説明しています。

5

タイマー・現在時刻の設定のしかた

■タイマー・現在時刻の設定方法

●タイマーとはシャッターが指定時間に自動で開閉する機能です。

例) 朝 6:00にシャッターを自動で開ける。

夜 17:00にシャッターを自動で閉める。

タイマー開予約時刻→タイマー閉予約時刻→現在時刻の順に設定していきます。

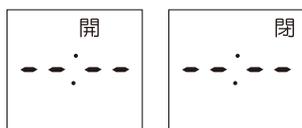
※時計精度は日差±2秒です。取付け環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。

手 順	使用するスイッチと操作方法	操作後の液晶表示
タイ マ ー 開 予 約 時 刻 の 設 定	1 切替スイッチ  を3秒以上押します。 (開・閉ランプが点滅。ランプは設定終了まで点滅します。) 「開」「  」が点灯、時刻表示の時側が点滅します。(分側点灯)	
	2 タイマー開予約時刻(時側)を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。 ※タイマー開予約時刻を設定しない場合はP.22の“タイマー開または閉予約時刻を設定しない場合”を参照し、「バー」表示にし、手順3、6の順に進んでください。	
	3 希望時になったら停スイッチ  を押します。 時刻表示の分側が点滅します。(時側点灯)	
	4 タイマー開予約時刻(分側)を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。	
	5 希望分になったら停スイッチ  を押します。 「閉」「  」が点灯、時刻表示の時側が点滅します。(分側点灯)	
タイ マ ー 閉 予 約 時 刻 の 設 定	6 タイマー閉予約時刻(時側)を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。 ※タイマー閉予約時刻を設定しない場合はP.22の“タイマー開または閉予約時刻を設定しない場合”を参照し、「バー」表示にし、手順7、10の順に進んでください。	
	7 希望時になったら停スイッチ  を押します。 時刻表示の分側が点滅します。(時側点灯)	
	8 タイマー閉予約時刻(分側)を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。	
	9 合わせたら停スイッチ  を押します。 「時計」「  」が点灯。時刻表示の時側が点滅します。 (分側点灯)	

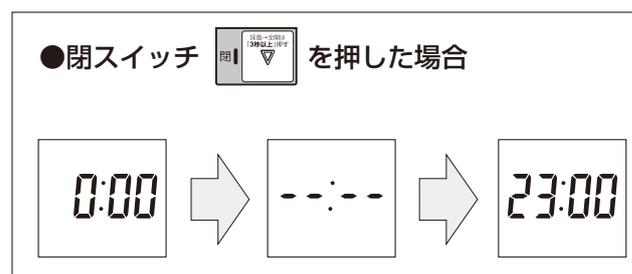
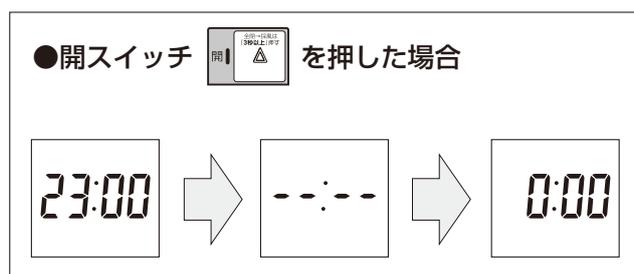
手 順	使用するスイッチと操作方法	操作後の液晶表示
現 在 時 刻 の 設 定	10 現在時刻（時側）を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。	
	11 希望時になったら停スイッチ  を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側点灯）	
	12 現在時刻（分側）を 開スイッチ  閉スイッチ  を押して合わせます。	
	13 停スイッチ  を押します。 「開」「 	
設定終了	14 切替スイッチ  を押します。 現在時刻が表示されます。 （開ランプ閉ランプが点滅を停止しシャッターの開閉状態に合わせて開もしくは閉ランプが点灯します。）	
タイマー予約ON	15 切替スイッチ  を1回または3回連続で押して「  を連続で押さない場合、初期状態（現在時刻のみの表示）に戻ることがありますので、切替スイッチ  を連続で押してください。	

■タイマー開または閉予約時刻を設定しない場合

●タイマー予約時刻の時側を設定する際、下記「バー」表示状態で停スイッチ  を押してください。



※「バー」表示は23時と0時の間で表示されます。



■タイマー予約・リモコン操作の切替え方法

●切替スイッチ  を押して、タイマー予約、リモコン操作のON、OFF設定をしてください。

設定状態	操作方法	操作後の液晶表示	備考
タイマー予約 OFF リモコン操作 OFF	初期状態		現在時刻のみが表示されます。
タイマー予約 ON リモコン操作 OFF	切替スイッチ  を1回押します。		現在時刻、予約状況「開、閉」、 「  」が表示されます。
タイマー予約 OFF リモコン操作 ON	切替スイッチ  を連続で2回押します。		現在時刻、「  」が表示されます。
タイマー予約 ON リモコン操作 ON	切替スイッチ  を連続で3回押します。		現在時刻、予約状況「開、閉」、 「  」、「  」が表示されます。
タイマー予約 OFF リモコン操作 OFF	切替スイッチ  を連続で4回押します。		初期状態（現在時刻のみが表示 されます。）

※切替スイッチ  を連続で押さない場合、初期状態に戻ることがありますので、切替スイッチ  を連続で押してタイマー予約、リモコン操作のON、OFF設定をしてください。

※切替スイッチ  を連続で押すことにより、上記設定状態が繰り返されます。

※ここでは、「エアリス・イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

6

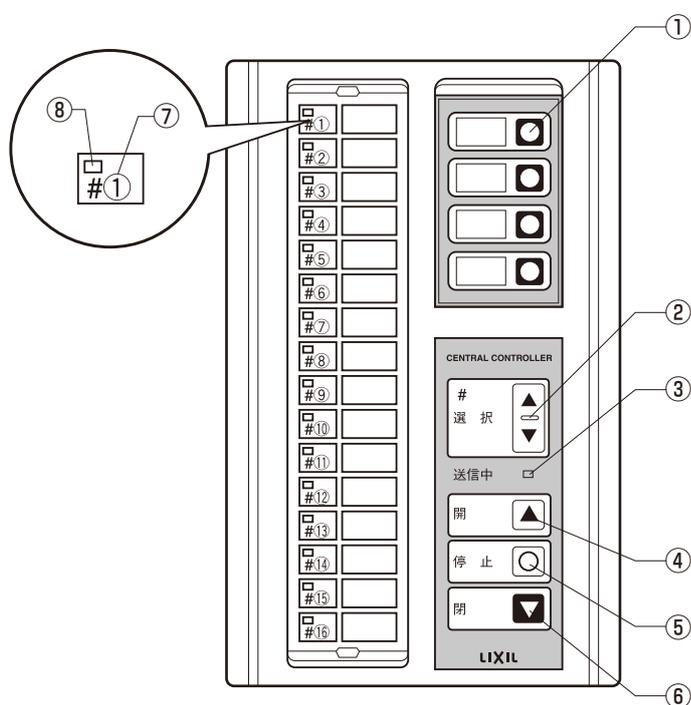
セントラルコントローラーの操作のしかた

■個別遠隔操作のしかた

- 1) 開閉したいシャッターの窓No.ランプ（緑）⑦が点灯するまで、窓No.選択スイッチ②を押してください。
- 2) 開ける場合は開スイッチ④、閉める場合は閉スイッチ⑥を押してください。
シャッターが上昇または下降し、送信ランプ（赤）③が点滅します。
シャッターを途中停止する場合は、停止スイッチ⑤を押してください。
シャッターが途中停止し、開閉表示/異常表示ランプ（赤）⑧が点灯します。
シャッターが全閉すると消灯します。

■グループ操作のしかた

- 1) グループ操作スイッチ①を押してください。
グループとして設定された複数のシャッターを同時に開閉できます。



●各スイッチのなまえ

番号	なまえ
①	グループ操作スイッチ
②	窓No.選択スイッチ
③	送信ランプ（赤）
④	開スイッチ
⑤	停止スイッチ
⑥	閉スイッチ
⑦	窓No.ランプ（緑）
⑧	開閉表示/異常表示ランプ

- 「エアリス」は、セントラルコントローラーでの採風モードへの操作はできません。
- グループを設定したり設定を変えたりする場合は、お客さま相談センターまでご連絡ください。

※ここでは、「エアリス・イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

7

リモコンの操作のしかた

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

お願い

- 壁スイッチ（アダプタ）の前に障害物を置かないでください。リモコン受光部が隠れてリモコン操作ができなくなるおそれがあります。
- お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。

※リモコンはオプション設定になります。

※壁スイッチがタイマー付き壁スイッチ（アダプタ）にて対応可能です。

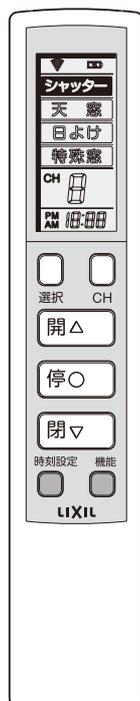
共通リモコン・単機能リモコンの操作のしかた

※共通リモコン・単機能リモコンの操作のしかたは、別冊の「共通・単機能リモコン、電動ユニット 取扱説明書」を参照してください。

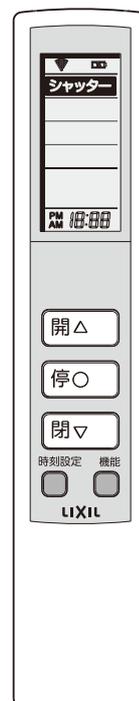
※「エアリス」は、リモコン操作での採風モードへの操作はできません。

※「エアリス」は、機能ボタンの操作でどの開閉位置からでも全開します。

共通リモコン



単機能リモコン



異常表示の原因と解除のしかた

※異常を感知した場合、開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が点滅します。
ここでは、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

1

赤の点滅

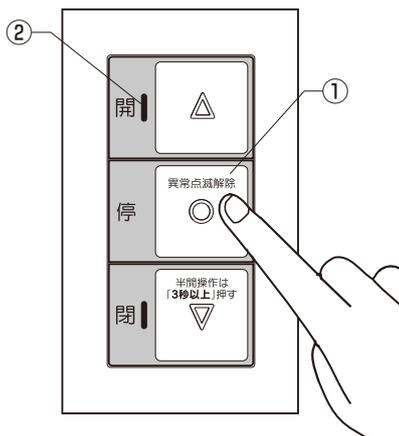
■開ランプが赤の点滅をするのは以下の原因が考えられます。(故障ではありません)

- (1)シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。
シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取り除いてください。
- (2)シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合
→シャッターはその場で停止します。
シャッターには、ぶらさがらないでください。
- (3)幅木ロックをかけたまま、シャッターを操作し一定時間経過した場合。
→シャッターはその場で停止します。
P.29「幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックを解錠してください。
- (4)強風時に開閉した場合。
→障子を閉め、異常表示を解除した後に開閉してください。それでも異常を表示する場合は、異常表示を解除せず開または閉スイッチを押し続けてください。異常表示は操作終了後、解除してください。

■開ランプ(赤)点滅の解除のしかた

●壁スイッチの場合

- (1)停止スイッチ①を押してください。開ランプ（赤）②の点滅を解除します。
※ブザー音は鳴りません。



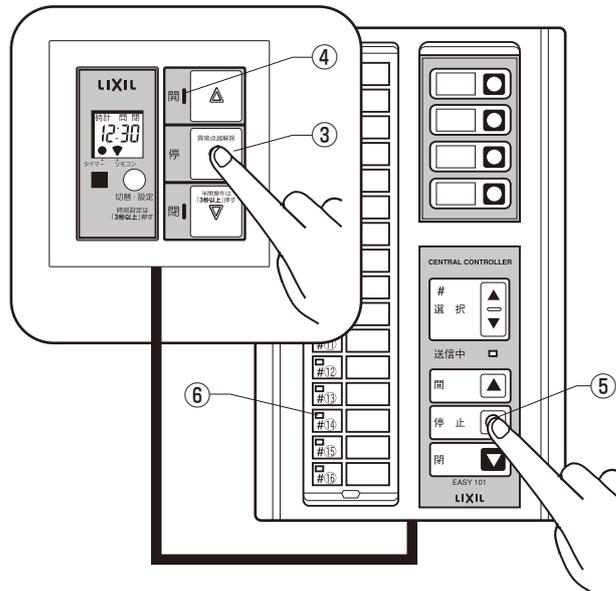
■開ランプ(赤)点滅の解除のしかた

●タイマー付壁スイッチ(アダプタ)の場合

- (1)停止スイッチ③を押してください。
開ランプ（赤）④の点滅とブザー音が解除されます。
※ブザー音は解除操作をしない場合でも、しばらくすると解除されます。

●セントラルコントローラーの場合

- (1)セントラルコントローラーの停止スイッチ⑤もしくはアダプタの停止スイッチ③を押してください。ブザー音が解除されます。
アダプタの停止スイッチ③を押した場合、同時にセントラルコントローラーの開閉表示（赤）⑥の点滅も解除されます。
- (2)セントラルコントローラーの停止スイッチ⑤を押した場合は、アダプタの停止スイッチ③を押してください。セントラルコントローラーの開閉表示（赤）⑥の点滅が解除されます。
※ブザー音は解除操作をしない場合でも、しばらくすると解除されます。



※セントラルコントローラーからの操作
安全上、異常表示中の集中制御はできませんので、
スイッチを操作しても作動しません。

2

緑の点滅

- 停電復帰後、閉ランプ（緑）が点滅します。（故障ではありません。）
開閉中の場合は、シャッターはその位置で停止します。
この場合、次の操作をしてください。
※閉スイッチを押しても作動しません。

■シャッターが全開状態の場合

- 全開状態であっても、開スイッチを押してください。少し開方向に作動します。
全開後、閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。閉ランプ（緑）の点灯に変わり通常動作に戻ります。
（全開にただけでは閉ランプ（緑）の点滅は解除されません。）

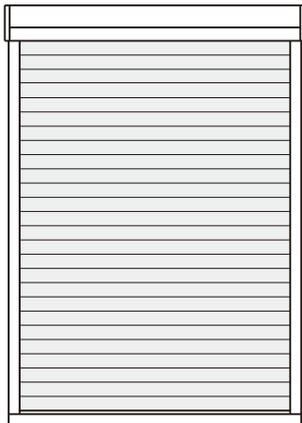
■シャッターが途中位置で停止している場合

- 開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。全開後、閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。閉ランプ（緑）の点灯に変わり通常動作に戻ります。
（全開にただけでは閉ランプ（緑）の点滅は解除されません。）
サイズにより幅木と下枠の間に、すき間が発生することがありますが、再度全開、全閉をするとすき間はなくなります。

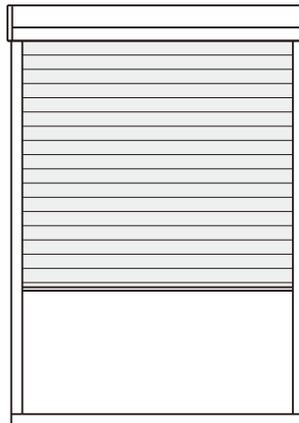
■シャッターが全閉状態の場合

- 開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。開ランプ（赤）の点灯に変わり通常動作に戻ります。

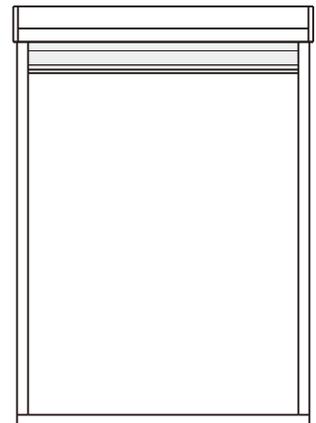
■シャッターが全閉状態の場合



■シャッターが途中で停止している場合



■シャッターが全開状態の場合



連窓方立の取外し方・取付け方

⚠ 注意

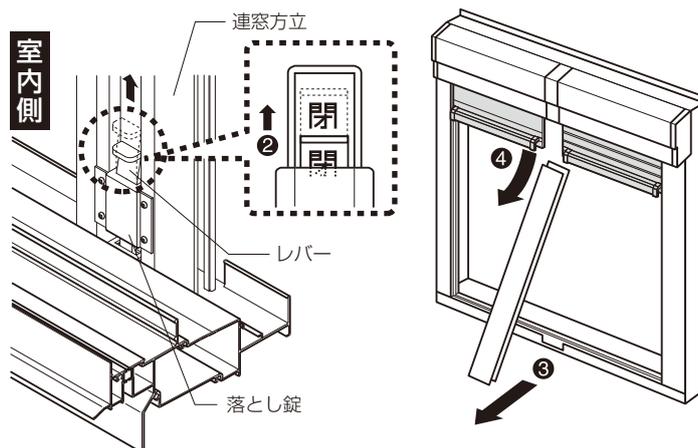
- 連窓方立の取付け後に、落とし錠のレバー部『閉』刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

お願い

- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

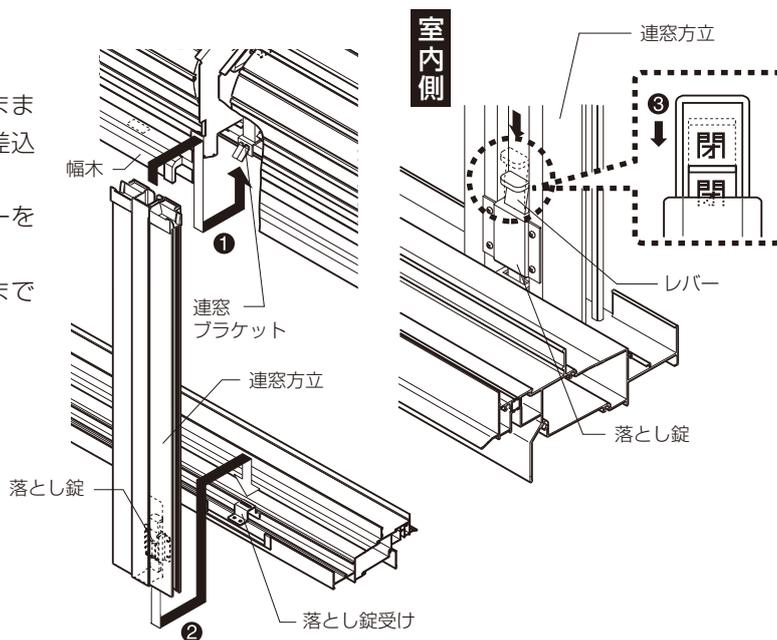
■「連窓方立」の取外し方

- ①「窓シャッター」を開けた状態にします。
- ②連窓方立の室内側下部についている落とし錠のレバーを上げます。
- ③連窓方立の下部を室外側に押し出します。
- ④連窓方立を下方方向に下げて、上部から引抜きます。



■「連窓方立」の取付け方

- ①連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
 - ②連窓方立の下部を室内側に引込み、落とし錠のレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。
- ※落とし錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。



幅木ロック機構の使い方

※ここでは、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1

幅木ロックとは

- 自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式の幅木ロックを用意しています。

お願い

- おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

2

幅木ロックの操作のしかた

■幅木ロックの施錠方法

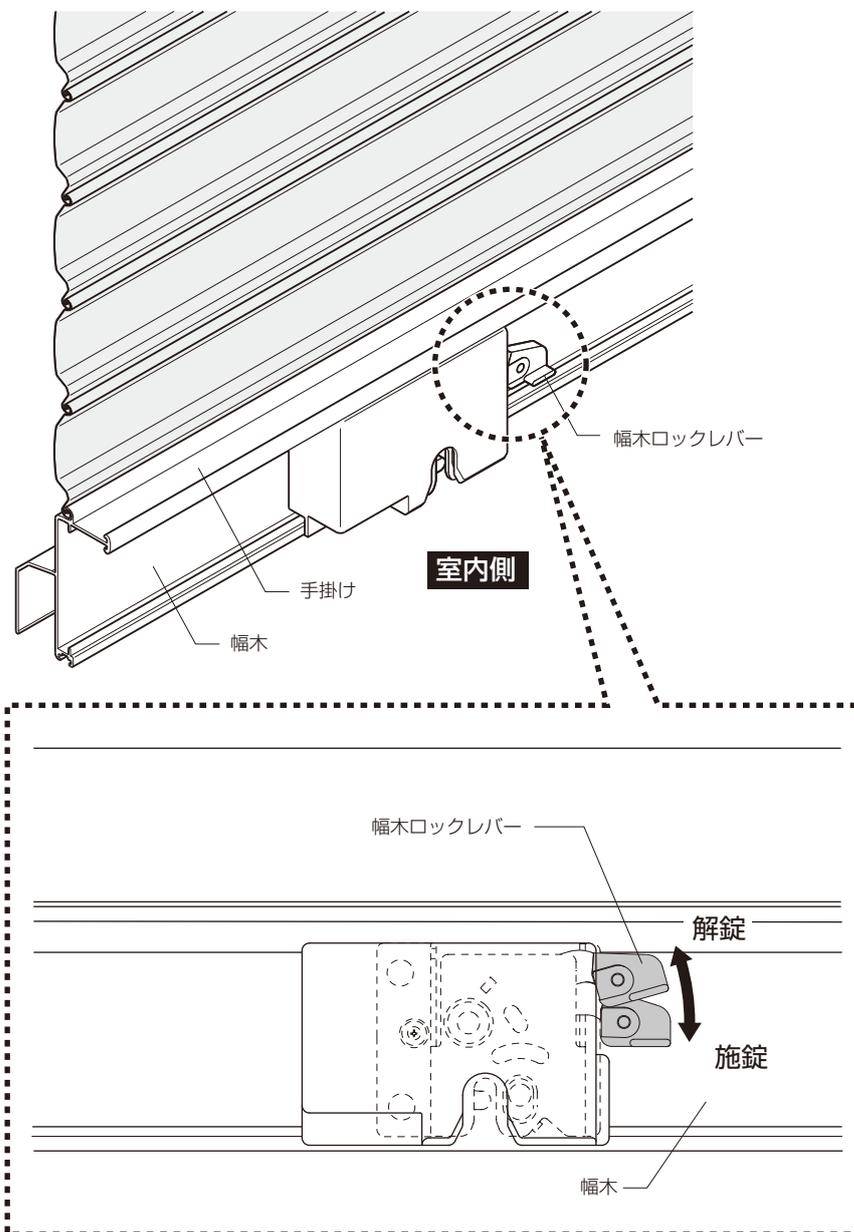
- ①シャッターを全閉にします。
- ②幅木の手掛けを下に押付けながら、幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

■幅木ロックの解錠方法

- 幅木ロックレバーを解錠側に倒します。

お願い

- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



停電時開閉機構の使い方

※ここでは、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

1

停電時開閉機構とは

- 「エアリス・イタリア」は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

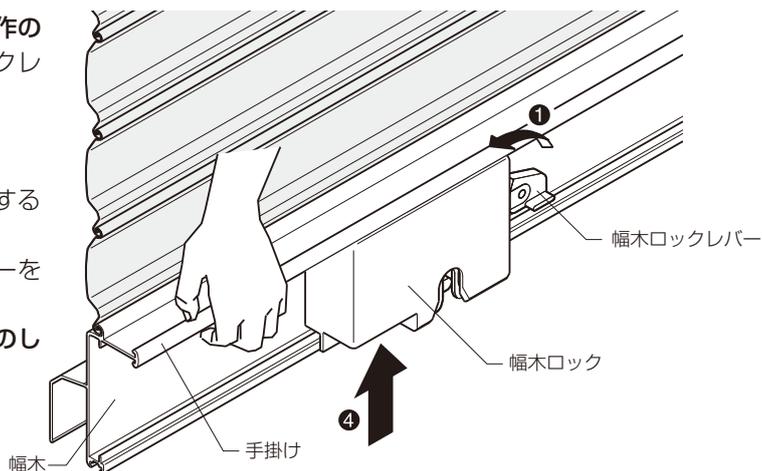
お願い

- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

2

開閉のしかた

- ①サッシの障子を開き、P.29「幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックの幅木ロックレバーを解錠します。
 - ②操作ハンドルをホルダーから外してください。
 - ③操作ハンドルを下方に引いてください。
(操作ハンドルを下方に引くと大きな音が発生する場合がありますが、故障ではありません)
 - ④そのまま幅木の手掛けを持ち上げ、シャッターを開けます。
- ※電動操作への復帰は、P.31・32「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。

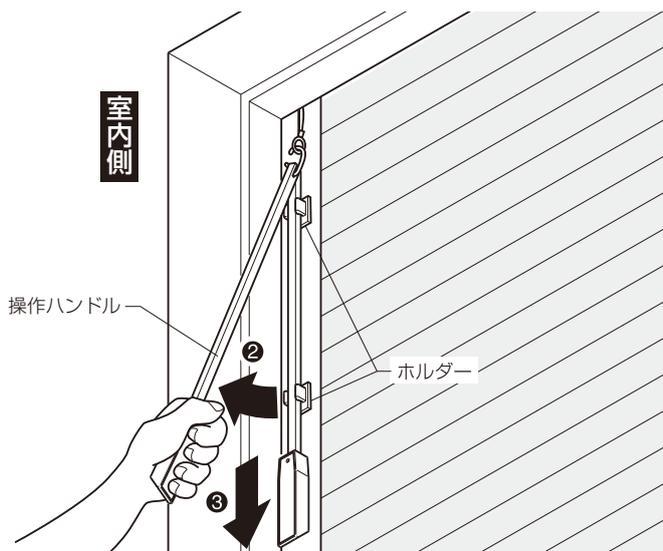


お願い

- エアリスの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一齐に閉じるため非常に大きな音がある場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 開閉中は開閉位置に、顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。



3

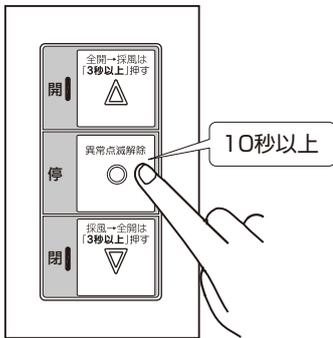
電動復帰のしかた

● 停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

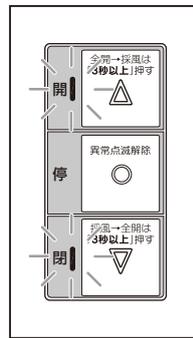
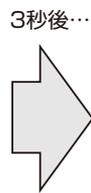
- ① 操作ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
※ 幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。
- ② 操作ハンドルをホルダーに固定してください。



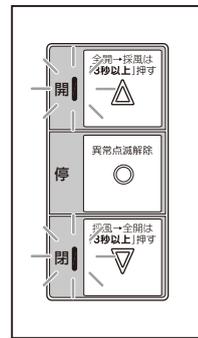
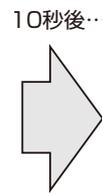
- ③ 停スイッチを10秒以上押し続けてください。
3秒後に開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が同時にゆっくり点滅し、10秒後に開ランプ（赤）と閉ランプ（緑）の両方が速い点滅をします。



停スイッチを
10秒以上押し続けます。

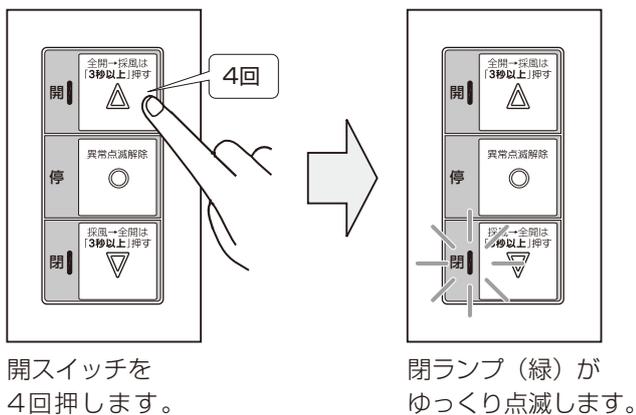


開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）
がゆっくり点滅をします。

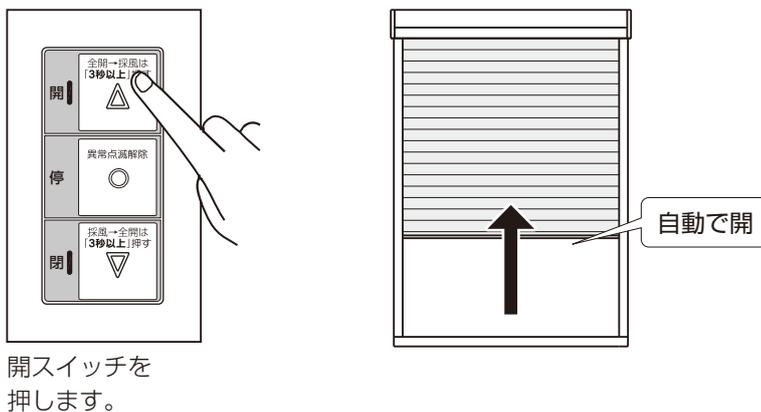


開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）
が速い点滅をします。

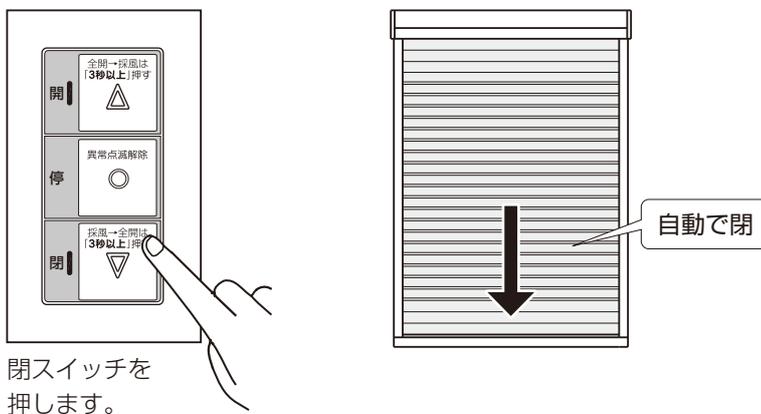
- ④開ランプ（赤）と閉ランプ（緑）が速い点滅をしたら開スイッチを4回押してください。
閉ランプ（緑）がゆっくりの点滅に変わります。



- ⑤開スイッチを押します。
自動で開動作をします。
※閉スイッチを押しても作動しません。



- ⑥全開まで動作したら閉スイッチを押します。
自動に閉動作をします。
シャッター全閉で自動停止し、開ランプ（緑）が点灯に変わり、通常動作に戻ります。



点検とお手入れ

※ここでは、操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

点検

- 少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
- プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順に従ってください。本手順に従わない場合、事故のおそれがあります。

●点検箇所

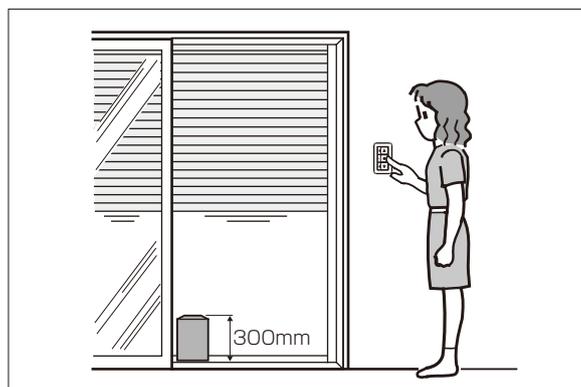
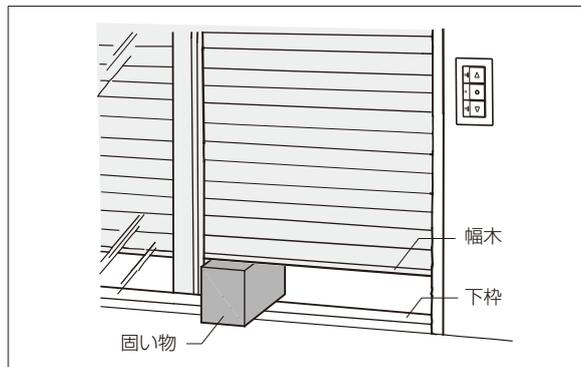
番号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。
②	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順に従ってください。
③	停電時開閉	P.30「■停電時開閉機構の使い方」に従い、手で開閉できるか。

プレッシャーリターンセンサーの作動点検

⚠ 注意

- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。
シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたら壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。
- 負荷を検出させた場合は必ず上限まで作動させた後に停止スイッチを押して異常解除をしてください。

- ①シャッターを全開にしてください。
- ②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
- ③壁スイッチの閉スイッチを押してください。
→シャッターが下降します。
- ④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇し全開で停止します。
※壁スイッチは開ランプ（赤）が点滅しますので、停止スイッチを押して解除してください。
- ⑤シャッターが全開停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取除いてください。
- ⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。

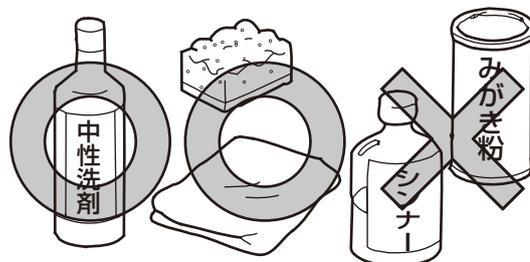


お手入れ

- 「イタリア」はアルミニウムおよび鋼板で、「エアリス」はアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物がないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

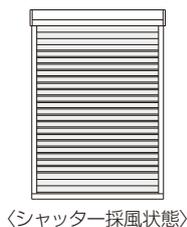
- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金べらなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



- ①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
- ②下枠やガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。

お願い

- 「エアリス」の場合は、シャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。

〔あまり汚れがひどくない部分〕

・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

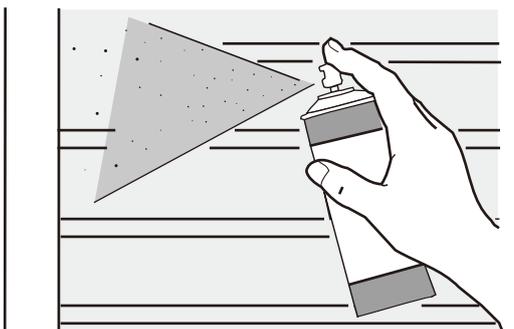
〔特に汚れがひどい部分〕

・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



- ④鋼板部にサビがでた場合

・まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。
シャッターが動かない場合、停止スイッチを押してから、下表「シャッターが動かない場合」に従ってください。

シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。 停電復帰後、「 ■異常表示の原因と解除のしかた 」を参照してください。	P.26・27
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。 ブレーカーを戻した後、「 ■異常表示の原因と解除のしかた 」を参照してください。	P.26・27
スイッチは確実に押しましたか？	本書の「 ■操作のしかた 」を参照してください。	P.15~25
閉ランプ(緑)が点滅していませんか？ 開ランプ(赤)が点滅していませんか？	本書の「 ■異常表示の原因と解除のしかた 」を参照してください。	P.26・27
手動で開閉できますか？	操作ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.31・32
幅木ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.29
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	P.3
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、「 ■重要なお知らせ 」の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10~15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.3
【タイマー付壁スイッチ(アダプタ)の場合】 タイマー予約時刻、現在時刻の設定状態になっていませんか？	切替スイッチを押してください。	P.23
【リモコンで動かない場合】 タイマー付壁スイッチ(アダプタ)のリモコン操作がOFFになっていませんか？	切替スイッチを押してリモコン操作をONにしてください。	P.23
【リモコンで動かない場合】 タイマー付壁スイッチ(アダプタ)に太陽光が当たっていませんか？	カーテンなどにより太陽光をさえぎってください。	—

●お問合わせ先については、P.1「**■重要なお知らせ**」を参照してください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合

(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合

(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合

(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象

(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)

⑧天災その他の不可抗力

(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

業務用 | MX2500 | 04 | 2017.3.17 発行

